

指定管理者運営評価シート

年度	平成28年度
所管課	商業振興課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市文化交流プラザ
所在地	佐賀市白山2丁目7-1
施設概要	<p>○施設の内容</p> <p>(1)敷地面積 5956.93㎡</p> <p>(2)延床面積 23,218.71㎡(エスプラッツ全体)</p> <p>(3)規模構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上12階、塔屋1階</p> <p>(4)管理対象面積 3,310.03㎡</p> <p><内訳>・3階 3,310.03㎡</p> <p>(5)施設の設置年月 平成19年3月</p>

2 指定管理者

指定管理者	団体名	株式会社佐賀新聞文化センター	指定期間	開始日	平成28年4月1日
	所在地	佐賀市白山2丁目7-1		終了日	平成33年3月31日
選定方法	公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	<p>1 施設の利用に関すること</p> <p>○利用許可・許可取消しに関する業務 ○利用料金の徴収・減免に関する業務</p> <p>2 施設の運営に関すること</p> <p>○開閉館業務 ○施設貸出業務 ○自主イベントの実施に関する業務 ○利用の促進に関する業務 等</p> <p>3 各種団体との調整に関する業務</p> <p>○佐賀市との調整 ○1, 2階街なかふれあいプラザの指定管理者及びテナントとの調整</p> <p>4 視察対応業務</p> <p>○他都市からの行政視察等への対応</p> <p>5 その他業務</p> <p>○施設損害賠償保険への加入(文化センターを除く。) ○その他、施設の管理運営に係る業務 等</p>
②施設の維持管理業務	<p>○施設及び設備の維持管理に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内の日常清掃・定期清掃業務 ・電球の球切れ交換(ホール内を除く全箇所) ・各施設の時計の調整 ・施設・設備の軽微な修繕 等
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	<p>○集客を目的とした自主事業の実施</p> <p>30公演実施 来場者合計 4,700人</p> <p><公演の主なもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化センターフェスティバル 発表会 1,221人 ・ピアノコンクール 1,050人 ・Happy YOSAKOI SAGA 330人 ・サウンド・オブ・ハーモニカ 250人 ・スピーチコンテスト 250人 ・笑いと涙の佐賀にわか 200人

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績			
		(平成27年度)	平成28年度		
① 利用者数	人	(47,703)	47,182		
② 施設利用率	%	(74.73)	78.98		
③ 自主事業実施回数	回	(37)	30		
④					
⑤					

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
館内アンケートボックスの設置 直接寄せられた要望・苦情等については、その都度情報共有に努めている。	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
交流センターの故障・劣化している機器等の更新	計画的に更新を実施している。 [平成28年度実績] 調光操作卓更新、カーペット修繕、チェアカバー修繕など

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	平成28年度決算					
指定管理料	67,000					/
うち修繕費	10					
うち備品費	0					
うち光熱水費	5,065					
摘要(補足説明等)	指定管理料には管理組合費、駐車場負担金、修繕積立金等管理組合拠出金を含む。					

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	平成28年度決算					
使用料	9,435					/
光熱水費等使用者負担金収入						
その他の収入						
合計	9,435					
摘要(補足説明等)	文化センター部分の使用料は市の収入					

7 指定管理者の自己評価

各施設の利用毎に備品等のチェックを行うなど、利用者が快適な環境で使用できるよう管理運営に努めている。また、回答数はまだ少ないがアンケートボックスを設置し、月毎に集計、利用者のニーズを出来るだけ反映させるべく努めている。

昨年度に引き続き、ホールは平土間でステージが可変という特性を活かし、講演会、会議、コンサート、吹奏楽練習、展示会など幅広いジャンルの催物の利用が多い。また、ギャラリーはセミナーやカルチャー教室、練習室は様々なジャンルのダンスの練習等での利用が増えている。

ただ、スタジオAは、特に学生・若年層の利用が減少しており、ホールの自主事業で学生バンドのライブを企画する等、利用者を取り戻す対策を講じる必要があると考えている。指定管理者が発行している「MOTEMOTE佐賀」というフリーペーパーで毎月施設、催物の告知をおこなっていることで認知度は上がっており、利用に結びついていると思われるので、引き続き宣伝広報に力を入れていきたい。

8 市による指定管理者の評価

28年度は自主事業イベントは30件が実施され、「Happy YOSAKOI」や「文化フェスティバル」など恒例となったイベントが好評であったものの、施設利用者数は1.1%減となり昨年からの減少傾向が続く結果となった。

スタジオAの若年層利用者減については外的要因もあるが、ホール併設である施設の特長や、指定管理者が得意とする情報発信や企画力を生かして当施設の活性化に注力いただきたい。

また、街なかふれあいプラザ指定管理者との連携はもちろんのこと、周辺地域の文化施設とも連携し中心市街地の文化発信施設としての役割を担うことも期待している。